



療人には専門知識だけでなく、社会人としての教養が求められています。

**鹿屋の医療を支え続ける
市立鹿屋看護専門学校**

これまで数多くの准看護師・看護師を輩出してきた鹿屋看護専門学校。同校には、長い歴史とともに築かれてきた医療教育の基盤と医療人としての地域医療を支えるための総合的な教育体制があります。

昭和38年4月に鹿屋市立准看護婦学校（高等課程）が開校。当時は旧中

私が 医療人になる

医療人とは

医療人と聞いてどのようなイメージを持つでしょうか。文字通り、医療に携わる人であることは間違いありませんが、文部科学省のホームページには、「人間的な成熟を促し、幅広い教養を身に付けさせるための教育を行った後に、医療に関する専門的な学習を行うことが望まれる」とあるように、医

18歳という歳は進学、就職など人生の大きな岐路に立つ年齢です。様々な「道」を選ぶとき、皆さんは何を目的に、何を考え、どのように選んでいくのでしょうか。

今回は本市の看護専門学校の現役学生や卒業生たちなど、「医療の道」を選択した人たちを紹介していきます。

問 鹿屋市立鹿屋看護専門学校

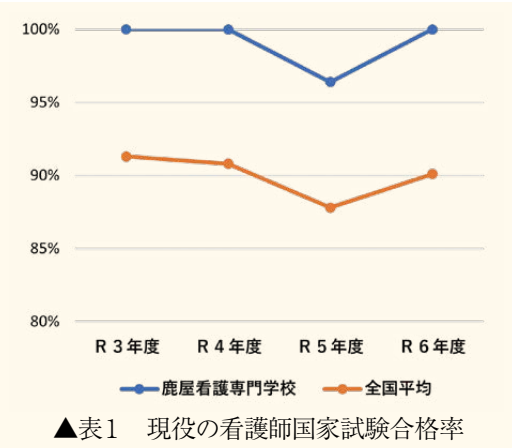
TEL 0994-44-6360



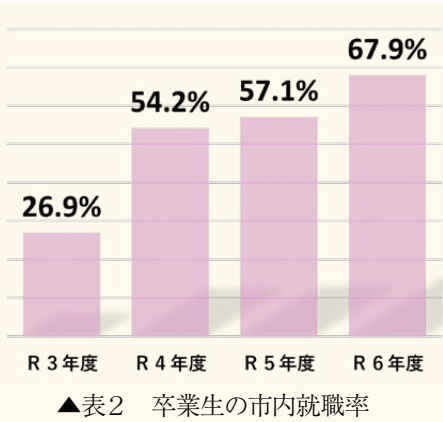
中央公民館（現・保健相談センター）などで授業が行われていました。その後、昭和53年に鹿屋市立鹿屋看護専門学校（専門課程）が開設され、高等課程で准看護師、専門課程で正看護師を目指す仕組みとなりました。

平成6年に2つの学校は統合され、平成17年3月末をもって高等課程は閉課。平成20年4月から現在の3年課程となりました。

同校は1学年30名の募集定員となっています。卒業した際には、専門課程の修了者として、専門士の称号が付与され、看護師国家試験の受験資格や大学編入学の資格を得ることができます。



また、同校の卒業生の国家試験合格率は100%であり、表1からもわかるように現役の卒業生の合格率も全国平均を大きく上回るなど、教育レベルの高さが数字として表れています。



同校は本市の医療を支える重要な役割を果たしています。同校卒業者の市内就職率（表2）は年々増加しており、各市内の医療機関等で生活のインフラともいえる地域医療に寄与しています。